



# 咽頭結膜熱(プール熱) の流行について

根室保健所

## 咽頭結膜熱とは？

年間を通じて発生しますが、特に夏季、プールを介して流行することがあるため、「プール熱」とも呼ばれるウイルス性の感染症で、小児に多い病気です。

- 38～40度の発熱、のどの痛み、結膜炎（結膜充血、眼痛、目やになど）の症状がみられる病気で、他に食欲不振・全身のだるさ・頭痛などの症状があります。
- 一般的に、症状は3～5日でおさまりますが、まれに重症肺炎を合併するなど重症化することがあります。

## 予防法は？

- 特別な予防法はありません。
- せきやくしゃみにより（飛沫感染）、あるいは患者の手についたウイルスにより汚染されたタオルや物を介してウイルスが口や眼などの粘膜に入って（接触感染）感染しますので、外出後のうがい、手洗いを徹底しましょう。
- プールでの水泳等の前後は、シャワーを浴び、眼をしっかりと洗い、うがいをしましょう。
- 治った後も1か月は便にウイルスが排泄される可能性があるため、手洗いを徹底すること、幼稚園、保育園、学校などの集団生活ではタオルの共用をしないことが重要です。
- 他の人にうつさないために咳エチケットを心がけましょう。

## かかってしまったら？

- 治療は対症療法のみで、発熱、のどや眼の痛みなどつらい症状をやわらげる治療が中心です。眼の症状が強い場合は、眼科へ相談してください。
- のどが痛い場合は、食事を取りやすいよう、やわらかく、薄味の食事を工夫し、水分補給を心がけましょう。
- タオル、洗面器などは患者さんと別にしましょう。
- 吐き気、頭痛の強いとき、咳が激しい時は、早めに医療機関へ相談してください。

※詳しい発生状況や今後の動向につきましては、「北海道感染症情報センター」のホームページを御参照願います。（<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>）



### 【問い合わせ先】

根室保健所 健康推進課保健予防係

住所：根室市弥栄町2丁目1番地

電話：0153-23-5161